



**第1962回 例会**

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang  
 第2640地区ガバナー: 辻 秀和  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 谷中 順次郎  
 幹事: 岡本 博  
 会報: 北村 圭司 副委員長



**VOL41 No. 27**  
**2015年1月21日 (水)**

事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~

**司会者** 谷中 順次郎 会長

**唱歌**

“ ああ田辺東ロータリー ”  
 石井 達 君



**出席報告**

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
44名	2名	10名	76.19%
1月7日修正出席率 100%			

**ヴィジター** 田辺RC 三谷昌平様

**ニコニコ箱**

(敬称略)

- ◇本日、宜しくお願ひ致します。  
田辺RC 三谷昌平様
- ◇委員会活動報告がんばって下さい  
愛須 勝章、本田 耕二、岩崎 泰人、片井 貢、  
木村 壽一、小山 實、丸山 博之、中嶋 伸和、  
那須 壽子、岡本 博、大久 保勝也、山本 亘、  
武田 静也、竹村 英一、上原 俊宏
- ◇本日、委員会活動中間報告します。宜しく。  
泉 房次朗、前田 吉彦、谷本 司
- ◇痛い (何が痛い?) 谷中 順次郎
- ◇家族新年会のロータリーソングは、YOU TUBEから  
取りました。かなりの曲数のロータリーソングが  
有りますね。 北村 圭司
- ◇本人誕生日  
◇末永く、今後とも、宜しくお願ひします。  
森本 修至
- ◇結婚記念日  
◇1月7日 41年目の結婚記念日を迎えました。  
嵐も吹けば雨も降る。『ひと美』がいて僕がいた。  
いつもありがとう。 佐田 一三
- ◇お花頂きます。 中川 文恵

**会長報告**

- 本日のプログラムは、先週と今週の2回に分けて、  
委員会活動中間報告発表となっております。各委員  
長さん、宜しくお願ひ致します。
- 米国カリフォルニア州サンディエゴの国際協議会に  
於いて2015-16年度 RIテーマ「世界へのプレゼント  
になろう」が発表されました。

- 1月17日(土)、和歌山県JAビルに於いて「クラブ雑誌・  
公共イメージ・広報委員長会議」が開催されました。  
会報委員の渡口君に出席していただきました。ご苦  
労様でした。
- 1月18日(日)、神戸国際会議場に於いて全国青少年交  
換シンポジウムが開催されました。青少年奉仕委員  
長の谷本君、出席ご苦労様でした。
- 1月25日(日)、2015年度米山記念奨学生の選考会に26  
40地区米山学友小委員長の坂本正人君が出席して下  
さいます。ご苦労様ですが宜しくお願ひいたします。
- 1月14日の定例理事会の報告を致します。  
◎上半期会計報告…会計の小山君より会計監査報告を  
受け、事務局より説明を受ける。  
◎日置川プロバスクラブの創立13周年記念大会につい  
て、今年度は開催しない旨の連絡が有り。  
◎田辺商工会議所から「大相撲 紀州：梅の里場所」  
協力のお願ひについて  
…具体的な内容が確認できていないため保留。  
◎新庄防潮堤の件…当クラブとしては防潮堤のメンテ  
ナンスはしない方針である為、占用許可は更新をし  
ない方向で確認をとる。  
◎2月11日(水・祝日)クラブ会長会議への出席の件  
…谷中会長、岡本幹事、武田君の3名が出席する。  
◎退会届の件…畔田君、森本君に再確認をしてもらう。  
◎PETSについて…出席の申し込みはしているが、費用  
の納入については後日判断する。

**幹事報告**

- 例会日時変更  
◎和歌山東RC 2月 5日(木)→ 休会

## ■メイクアップ

◎1月14日(水)、定例理事会

泉君、木村君、小山君、岡本君、坂本君、武田君  
竹村君、谷本君、谷中君、吉田君、吉本君

◎1月17日(土)、広報委員長会議

渡口君

◎1月18日(日)、全国青少年交換シンポジウム

谷本君

◎1月20日(火)、田辺はまゆうRC

橋本君

## ■回覧

◎「シーカ117号」

◎「英語版ロータリアン2月号」

◎「ハイライトよねやま178号」

◎「米山寄付12月度迄集計表」

「総合表」「表彰一覧表」「12月の寄付金傾向」

◎「R財団寄付12月度迄集計表」

◎ガバナーエレクト事務所より

2015-16年度RIテーマが米国カリフォルニア州サンディエゴの国際協議会に於いて

「世界へのプレゼントになろう」が発表されました。

## 本日のプログラム

### 委員会活動中間報告

会報委員会

副委員長 北村圭司君



- 1) 例会の正確な記録、及び、報道を行う。
- 2) 会員や行事の写真を織り交ぜ、視覚的に楽しめるように編集する。
- 3) 毎週、発行する。
- 4) 『ロータリーの友』を会員向けに周知する。
- 5) 週報のデータ化及びデータ配布をさらに推進する。
- 6) ホームページの維持活用を行う。

会報委員会は、委員長の長期不在、副委員長の私が1ヶ月に2回ほどの出席のため、不在時に多くの他のメンバーさんの協力のもと、会報を発行させていただいております。心から、皆様の御協力に感謝致します。

プログラム委員会

委員長 早稲田清司君

→代読 副委員長 中嶋 伸和君



入会1年半でプログラム委員を仰せつかり、右も左も分からない私に出来るだろうか、何から始めてよいのだろうか、大変悩みましたが、事始まりますと、早速吉田さんから紹介のケーキの幸屋さんを皮切りに、古家さんから詩吟の講師の紹介があり、会員の坂本さんのスウェーデン旅行など、スムーズに船出することができました。

副委員長の中嶋さんという頼もしい協力者の下、市役所、振興局等を訪れ卓話の依頼をお願いに上がりましたところ、市役所の観光振興課と西牟婁振興局の消費生活センターの了解を得ることができました。静かなブームの口熊野の外人旅行者の増加や、振り込め詐欺にかからない対処方法、かかった時の相談方法を講演して頂きました。

税務署も中嶋さんの依頼で来て頂くことが出来ました。

吉本さんにも富田のしいたけ栽培の方を紹介して頂き、富田まで同行して頂きましたが受けて頂けることができませんでした。もう一人、白浜の山崎梅園堂の山崎さんを紹介して頂き、和歌山県世界遺産マスターとしての話を聞くことが出来ました。

マナーと第一印象の出井和子さんには美しい姿勢を、肛門をキュッと閉めて、お腹を突き出し、肩と一直線に保つと教わりました。マナーとは、思いやりの気持ちを相手や周囲に対して自然な形にして表すこと。第一印象の5原則とは、表情、挨拶、身だしなみ、言葉遣い、態度等、東ロータリーにぴったりでした。

なんといっても、著書『輝く瞳に会いに行こう』の原田さんの卓話。タイのアカ族の将来と子供達の将来に、無知文盲に起因する、麻薬、エイズ、そして売春の危険から守ることが出来るのは、識字率の向上である。そのために、本を通じて知識を深めることでアカ族の子供たちの貧困と将来を明るくすることが出来るとの訴え。その取り組みと、活動に、感動と尊敬を致しました。

苦しい時の神頼みで、堀さんと上原さんに卓話を急遽依頼して気持ちよく受けて頂きました。

会員の皆様の協力により、中間まで何とか、収めることが出来ました。色々なお世話をして頂き、的の外れた紹介のスピーチもしながら、面白く、楽しい例会にしていきたいと思っておりますので、今後も皆様のご協力よろしくお願い致します。

職業奉仕委員会

委員長 泉 房次朗君



基本方針

事業計画

- 1) 職場訪問として11月19日(水)田辺米穀株式会社様を訪問致しました。上富田町朝来3894-54  
創立1952年 事業内容は塩事業センター 塩・米穀類・業務用食品等卸商 従業員38名 子会社員18名

で地元の大手企業です。

社長より紀南地域の地元食品スーパー小売店への商品卸売供給・梅干しなど地域食品製造への原材料供給等、食材マーケットのバックアップ企業としてお役に立つように頑張りたいとのメッセージでした。

後半は、御社の冷凍保存室・商品倉庫・事務室等を見学させて頂き、大変お世話になりました。

我々会員一同、職業人として勇気と友情を与えて頂きました。

2) 後半出来れば当会員の職場訪問をして優良従業員を表彰したいと思います。

3) 時間が許せば会員内卓をお願いしたいと思います。

社会奉仕委員会

委員長 武田 静也君



社会奉仕委員会の中間活動報告を発表いたします。

9月16日 広島豪雨災害被害に対する義援金5万円をガバナー事務所を通して協力。

10月 4日 弁慶祭りにおいて餅まき (15万円)



10月28日 田辺市暴力追放決起集会及び街頭啓発パレード  
街頭啓発パレードに9名参加。



10月25日 麻薬・覚せい剤乱用防止運動  
今年度は見送り。

青少年奉仕委員会

委員長 谷本 司君



上富田町青少年育成町民会議の福島県児童の招待事業「出会いふれあい体験教室」に対して活動支援金として20万円を協賛しております。

また、熊野高校1年生の女生徒が2015年～2016年度の青少年交換留学生としてカリフォルニアに留学することが決まり、申請書を作成しています。

先日、1月18日(日)神戸国際会議場に於いて全国青少年交換シンポジウムが開催され、出席して来ました。

午前中は青少年交換学友の実際の体験に基づく基調講演があり、午後からは分科会と全体会議での討論会がありました。

今年の夏には交換で留学生が来られます。その時に来日生にも派遣生にも当クラブにも、実りある青少年交換となりますよう、活発な議論、情報交換がされました。

国際奉仕委員会

委員長 森本 修至君



こんにちは。国際奉仕委員長の森本です。副委員長沖さんの2名です。

今期は特に留学生もなく、特別なことはしていません。今年上期は去年の引き続きでR財団の補助金申請につき、企画、立案、プロデュースをいたしました。

田辺市教育委員会 生涯学習課が主催する「田辺市子どもクラブ育成協議会」に40万円寄付をいたしました。

その先は小山氏、前田氏の協力のもとで実行できました。色々と有難うございました。

以上、上半期の活動内容です。宜しくお願いします。

R財団委員会

委員長 前田 吉彦君



<活動報告>

昨年12月に田辺市の教育委員会にバスケットピンポン台等の物品を寄贈し、現在、田辺市子どもクラブ育成協議会の活動に使用されています。

<お願い事>

皆様のご寄付額が将来の活動や補助額に影響することですので、地区の問題等ございますが、引き続きご支援をお願い致します。

米山記念奨学委員会

委員長 佐田 一三君



今年度初めて、田辺はまゆうロータリークラブとの合同例会をガーデンホテル ハナヨにて行いました。

米山奨学生13名、地区委員4名、熊野高校の校長先生1名と田辺はまゆうロータリークラブ36名、田辺東ロータリークラブ37名と多数出席して頂きました。

特に懇親会は奨学生との会話に花が咲き楽しいひと時を過ごさせて頂きました。皆様ご協力有難う御座いました。

尚、後期を迎えて、皆様のご寄付をお待ちしていますので宜しくお願いいたします。

## 開催趣意書

実行委員長  
国際ロータリー-RAC/IAC委員 三木 明  
RID2680 2014-15年度ガバナー 滝澤 功治  
RID2680地区青少年奉仕委員長 黒田 建一

国際ロータリーの常設プログラムである青少年交換は半世紀以上の長い歴史を有し、素晴らしい実績を上げてきたプログラムです。このプログラムは1920年代にヨーロッパのクラブで始められたとされていますが、その後様々な国で実施されるようになり、1972年、国際ロータリー理事会はこれを価値ある国際的な活動として、世界中のクラブに青少年交換を推奨することにしました。異文化に接することは、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法です。ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を多くの青少年に提供しています。

(ロータリー青少年交換要覧から)

しかし、その一方で、青少年交換を実施する過程でいくつかの問題が発生することも私たちが経験してきたところであり、実際、2014年6月にシドニーで開催された国際ロータリーの国際大会の青少年交換に関する諸会議においても、日本に派遣された交換生のうち、何らかの事情で早期帰国を余儀なくされた者が5パーセントにもものぼると報告されていました。当地区においても、近時いくつかの問題が発生したことから、本年度は長期交換を一時休止することとし、短期交換のみを実施しました。

そこで、当地区は、この機会に、青少年交換プログラムの意義をあらためて確認し、これまで以上に積極的に推進する立場から、全国シンポジウムを開催することにしました。

本シンポジウムにおいては、青少年交換プログラムに関わる各地区のガバナー、青少年奉仕委員長、青少年交換委員長等のロータリー関係者はもとより、青少年交換学友、来日生を受け入れる学校関係者、ホストファミリーの皆様方のご参加を得て、それぞれの立場からご経験や問題点に関するご意見を伺いたいと考えています。そのような議論を通じて、立場の違いを超えて関係者の間で青少年交換に関する認識を共有するとともに、予測されるいくつかの問題点に対する有効な方策を見出すことにより、今後の青少年交換事業の実施に役立て、より豊かな青少年交換を実現したいと思います。

以上

日時 2015年1月18日(日)

受付10時 開会10時45分 閉会16時

場所 神戸国際会議場(神戸市中央区港島中町6-9-1)

主催：国際ロータリー第2680地区

会場：神戸国際会議場

ロータリーの正式プログラムである青少年交換プログラムはどうあるべきかといった基本的な認識を深めることが重要です。

今回のシンポジウムを通じて青少年交換に携わる皆様が問題を共有し、解決するための知識を多く得られることを期待しロータリー青少年交換学生が将来受入国と派遣国を繋ぐ立派な国際親善平和大使となって世界の平和に貢献することを願って止みません。

国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC)  
理事長 山崎 清司

1972年に世界的な平和と理解を深める価値あるプログラムとして正式に推奨され多くの高校生たちにその機会を提供し国際理解を深め世界平和について考え親善大使として異文化交流を深めお互いに理解と信頼を深めようとそのすばらしい理念を広げてまいりました。

しかし昨今趣旨を理解できているのだろうか、ルールが守られているのだろうか、習慣の違いを受け入れる努力がなされているのか、など多くの問題点も出てきました。この現実を直視し問題を解決し青少年交換プログラムを更に輝かせるため今回のシンポジウムがさらなる信頼と夢の実現に向けて前進する機会となることを願ってやみません。

全国青少年交換シンポジウム実行委員長  
RIローターインターアクト委員 三木 明

青少年交換は国際理解と親善の精神を育み、ロータリーの究極の理想である世界平和を達成するという目的の下、世界中で輝かしい成果を積み重ねてきました。同時にプログラムの対象者が未青年ということ片時も忘れてはならないと思います。危機管理体制を整備し些細な問題にも対応できるように青少年交換に関わる皆様に活発に議論、情報交換を本シンポジウムで行っていただき多大な成果を挙げられることを期待いたします。

国際ロータリー-2680地区

ガバナー 滝澤 功治

基調講演『私が経験したインドとの青少年交換の実態』私はロータリーの留学でインドに行きました。楽しみ、不安、どきどき感は忘れられません。すべてが日本と異なる国、そこでの自分との葛藤、言葉の壁、カルチャーショックなどさまざまな経験をして見えたもの、感じたもの。

インドの経験があったからこそ今の自分がいます！

ロータリーの皆様、本当にありがとうございました。

留学期間2010~2011インド 竹馬 佑美